

平成19年度  
県立体育センター研究

スポーツ指導者登録・紹介制度の今後のあり方  
について

神奈川県立体育センター  
指導研究部 スポーツ情報室

## 目次

テーマ設定理由	．．．	1
目的	．．．	1
内容及び方法	．．．	1
結果	．．．	3
参考	．．．	8
現状と課題	．．．	16
今後のあり方について	．．．	19
まとめ	．．．	21
資料	．．．	22
参考文献	．．．	32

# スポーツ指導者登録・紹介制度の今後のあり方について

スポーツ情報室 磯貝 靖子・日下 肇・黒岩 俊彦・瀬尾 一幸

## 【研究テーマ設定の理由】

平成2年度に文部省（現・文部科学省）の地方スポーツ振興費補助金を受けて設置された神奈川県スポーツリーダーバンクは、今年度設立18年目を迎える。この事業は「各種スポーツ指導者の発掘・登録を行い、各種スポーツ施設や地域スポーツクラブなどに対し指導者名簿を配付するなど指導者育成の体制づくりを図る」ことをねらいとし、平成14年度には、さらに多くの県民への情報提供を図るため、インターネットを通じた検索ができる神奈川県生涯学習情報システムを利用した現在のスポーツ指導者検索システムを導入した。しかし、近年、個人情報保護の観点から、その取り扱いについてはこれまで以上の配慮が必要となってきた。そのような中、「登録指導者の活用状況を把握することができない」、「公開している情報だけでは登録指導者の指導内容をうかがい知ることのできる情報、いわゆる“顔の見える情報”とは言えない」といった開設時からの問題も抱えたままである。

そこで、あらためて各種スポーツ関係団体及び市町村におけるスポーツ指導者登録・紹介の状況、神奈川県スポーツリーダーバンク登録指導者の意識及び他都道府県におけるスポーツ指導者登録紹介制度の取り組み状況等について調査・分析し、神奈川県スポーツリーダーバンクの課題や問題点を整理し、改善の方向性をさぐるために、本テーマを設定した。

## 【目的】

県民の多様なスポーツ活動へのニーズに対応し、専門的な知識を有したスポーツ指導者の登録・紹介制度を整備し、スポーツ情報サービス機能の充実を図るため、スポーツ指導者登録・紹介制度の今後のあり方を検討するための基礎資料とする。

## 【内容及び方法】

- 1 研究の期間  
平成19年4月～平成20年3月
- 2 研究内容  
スポーツ指導者登録及び紹介制度に関する調査・分析
- 3 研究方法
  - (1) 文献研究
  - (2) 質問紙法による調査
    - ア 調査期間  
平成19年7月下旬～平成19年8月下旬
    - イ 調査の方法  
質問紙法によるアンケート調査（対象者へ直接郵送）
    - ウ 調査対象者  
市町村スポーツ主管課  
スポーツ関係団体  
スポーツクラブ・サークル  
神奈川県スポーツリーダーバンク登録指導者（FAX所持者 568名）

## エ 標本回収率

	回収数	配布数	回収率
市町村スポーツ主管課	31	33	93.9%
スポーツ関係団体	46	107	42.9%
スポーツクラブ・サークル	11	114	9.6%
登録指導者	198	568	34.9%

\* スポーツクラブ・サークルについては回収率が低かったため、分析対象外とした。

## (3) 聞き取り調査

### ア 調査期間

平成19年11月～平成20年1月

### イ 調査の方法

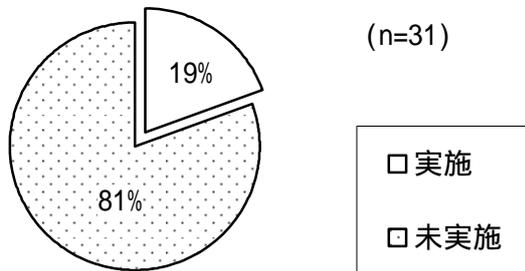
電話及びe-メールによる聞き取り調査

### ウ 調査対象

他県：埼玉県、千葉県、東京都、愛知県、大阪府、  
県内：PLANETかながわ、ハマスポどっとコム  
民間：特定非営利活動法人スポーツ指導者支援協会

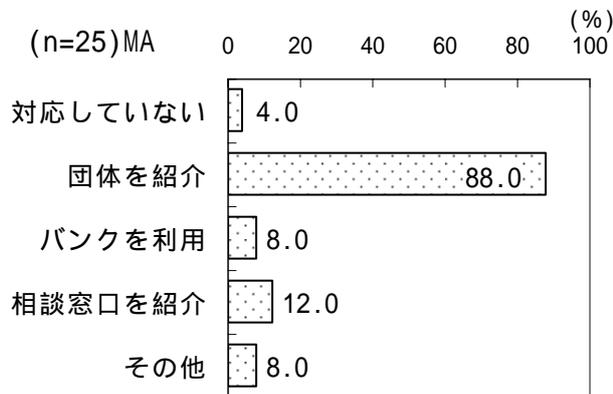
【結果】

1 神奈川県におけるスポーツ指導者登録・紹介制度の状況について（巻末資料参照）  
 (1) 市町村スポーツ主管課



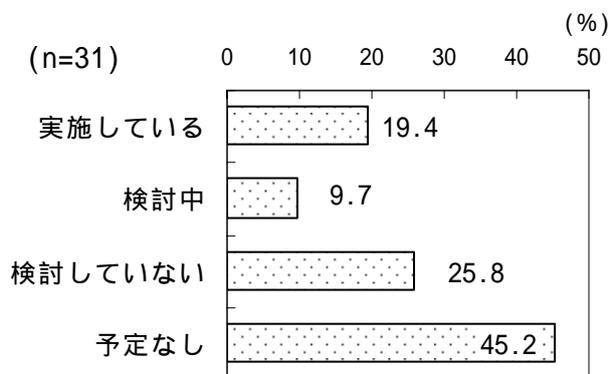
市町村スポーツ主管課の19%がスポーツ指導者登録・紹介制度を実施している。（質問1）

図1 スポーツ指導者登録・紹介制度実施状況（市町村）



県民からの指導者派遣に対応する際、市町村スポーツ主管課の88%が体育協会等の団体を紹介している。（質問5）

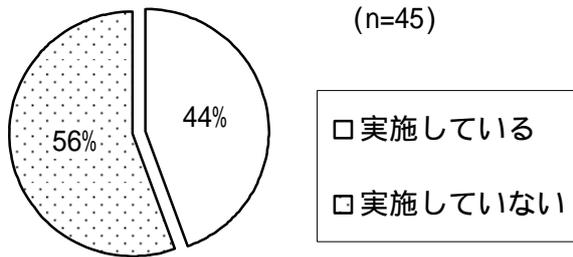
図2 指導者依頼への対応状況（市町村）



今後、市町村スポーツ主管課の9.7%が、スポーツ指導者登録・紹介制度の実施を検討している。（質問6）

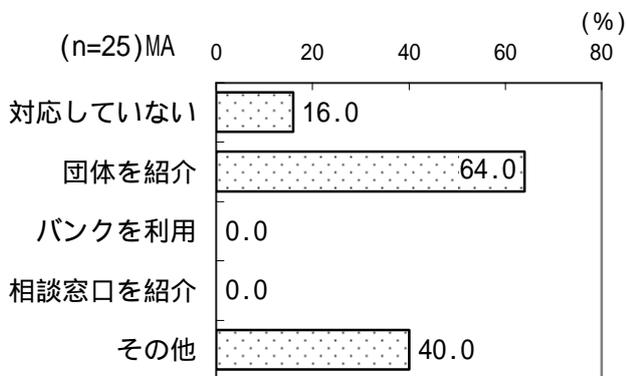
図3 スポーツ指導者登録・紹介制度実施予定（市町村）

(2) 県内各種スポーツ関係団体



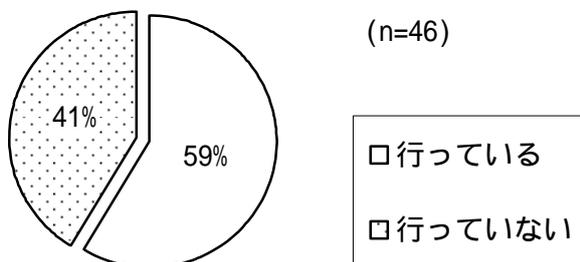
各種スポーツ関係団体の44%が、スポーツ指導者登録・紹介制度を実施している。(質問1)

図4 スポーツ指導者登録・紹介制度実施状況 (関係団体)



各種スポーツ関係団体の64%が、県民からの指導者派遣に対応する際、体育協会等の団体を紹介している。(質問5)

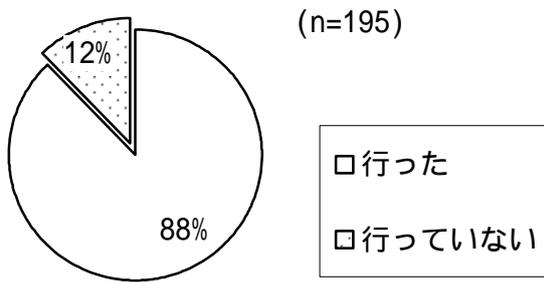
図5 問い合わせへの対応状況 (関係団体)



各種スポーツ関係団体の59%が、所属する指導者を対象とした講習会等を行っている。(質問7)

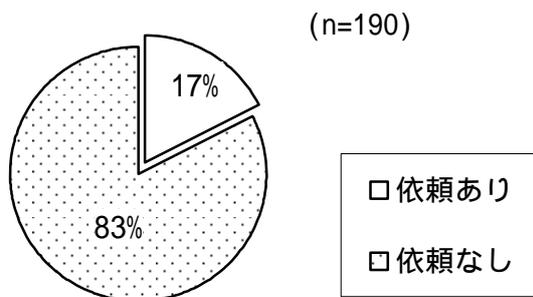
図6 講習会等の実施状況 (関係団体)

(3) 神奈川県スポーツリーダーバンク登録指導者



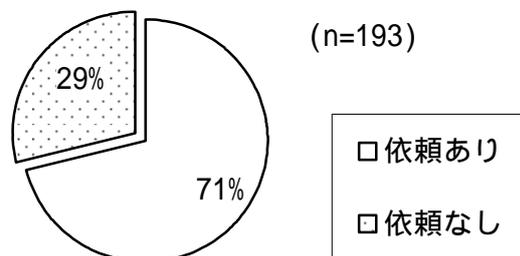
県スポーツリーダーバンクに登録する指導者の88%が、過去3年間にスポーツ指導を行っている。(質問1)

図7 スポーツ指導実施状況



県スポーツリーダーバンクに登録する指導者の17%が、バンクを通じたスポーツ指導依頼を受けている。(質問2)

図8 スポーツリーダーバンクを通じたスポーツ指導依頼状況



県スポーツリーダーバンクに登録する指導者の71%が、バンク以外の方法によるスポーツ指導依頼を受けている。(質問3)

図9 スポーツリーダーバンク以外の方法によるスポーツ指導依頼状況

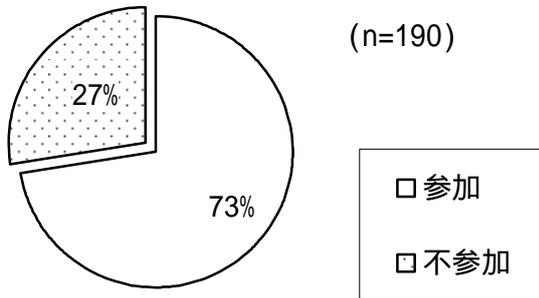


図10 研修会・講習会等参加状況

県スポーツリーダーバンクに登録する指導者の73%が、この3年間に研修会・講習会等に参加している。  
(質問4)

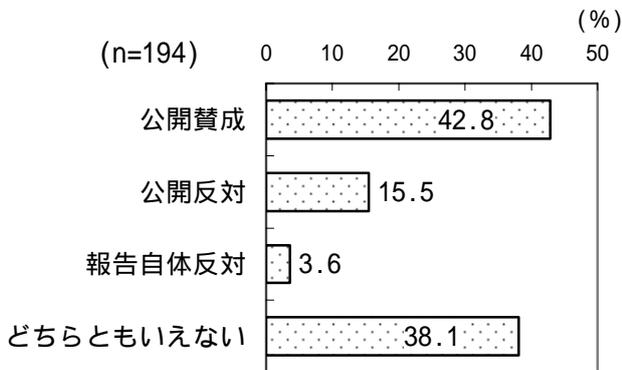


図11 指導実績の一般公開への意識

指導対象者、指導回数(日数)などの指導実績を報告し、指導実績として公開することについて、県スポーツリーダーバンクに登録する指導者の42.8%は賛成であり、38.1%はどちらともいえないと回答している。(質問5)

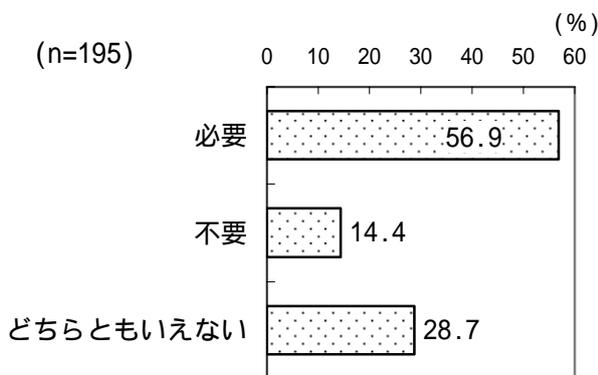


図12 指導評価の必要性

県スポーツリーダーバンクに登録する指導者の56.9%が、自分の指導を受けた方から、自分の指導に関する評価を受ける必要があると考えている。(質問6)

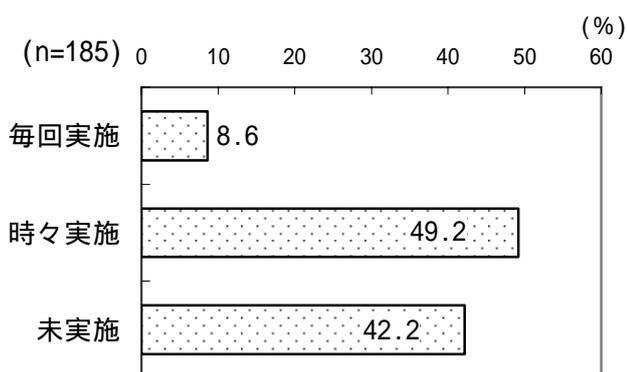


図13 指導評価実施状況

県スポーツリーダーバンクに登録する指導者の8.6%が、自分の指導に関する評価を毎回実施し、49.2%は時々実施している。(質問7)

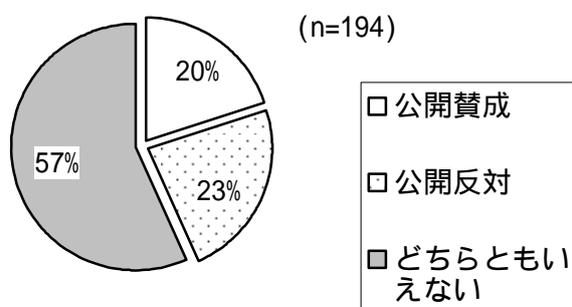
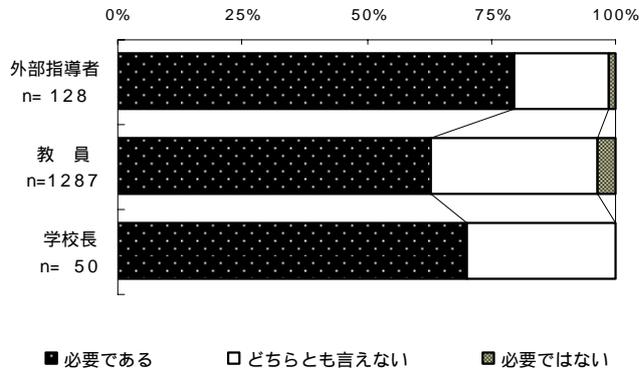


図14 指導評価結果の公開

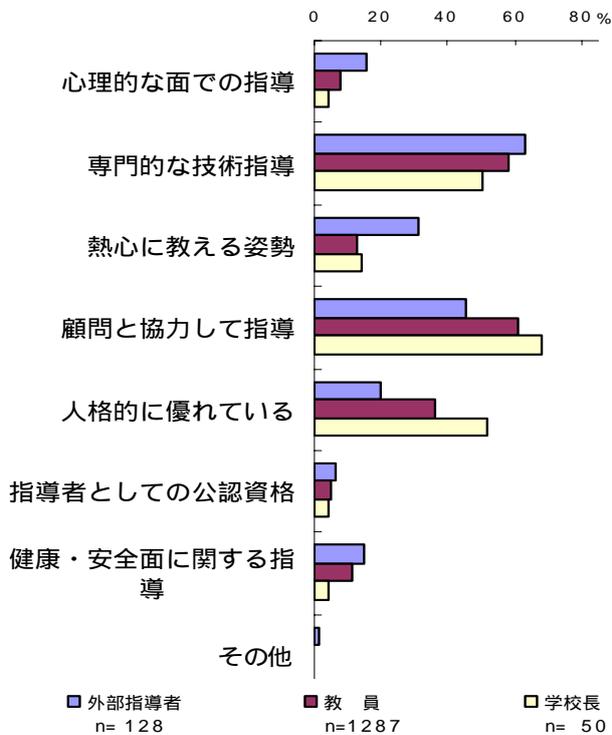
自分の指導に関する評価をポイント化するなど、わかりやすい表示方でホームページ等によって公開することに県スポーツリーダーバンクに登録する指導者の20%は賛成であり、57%はどちらともいえないと回答している。(質問8)

**参考** 中学校・高等学校生徒のスポーツ活動に関する調査について<sup>5)</sup>  
 (平成18・19年度 神奈川県教育委員会教育局保健体育課実施)



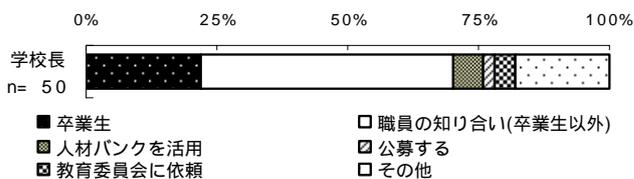
外部指導者、教員、学校長の多くが、学校運動部活動における外部指導者活用は必要であると回答している。

図15 外部指導者活用の必要性



外部指導者活用の際に求める資質としては、外部指導者は専門的な技術指導とし、学校長は人格的に優れた人としている。

図16 外部指導者に求める資質



学校長の多くが、学校運動部活動における外部指導者を、卒業生や職員の知り合いから探している

図17 外部指導者検索方法

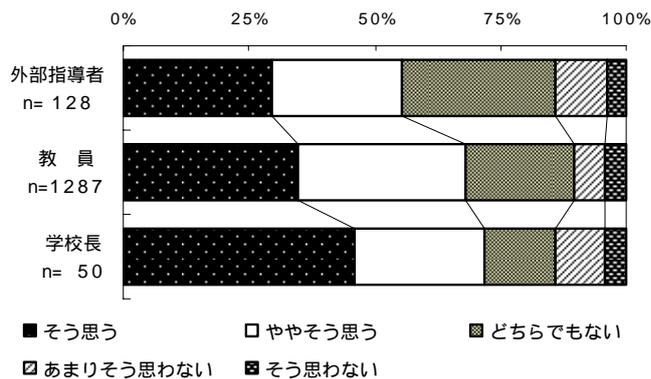


図18 外部指導者活用のためのバンクの必要性

学校運動部活動における外部指導者活用のための人材バンクについて、外部指導者、教員、学校長の多くが必要であると考えている。

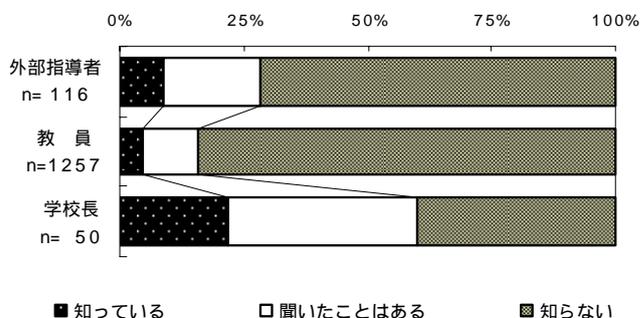


図19 スポーツリーダーバンクの認知度

外部指導者、教員、学校長の多くが、県スポーツリーダーバンクを知らない。

「中学校・高等学校生徒のスポーツ活動に関する調査」

1 調査対象

神奈川県内中学校・高等学校に在籍する生徒とその保護者、神奈川県内中学校、高等学校に在職する教員、外部指導者、学校長。

2 調査時期

平成19年6月11日～7月20日

3 調査人数（有効回答数）

中学生2531人、高校生2625人、保護者4029人、外部指導者128人、教員1287人、学校長50人

## 2 他都府県におけるスポーツ指導者登録・紹介制度について

各都道府県におけるスポーツ指導者登録・紹介制度の設置・活用状況についての先行研究<sup>1)</sup>やホームページ等で公開されている情報を参考に、県スポーツリーダーバンクと比較検討する都府県を選び出し、電話及びe-メールによる聞き取り調査を実施した(表1)。

東京都では、財団法人東京都スポーツ文化事業団で運営しているが、現在は制度自体を休止しており、来年度の再開に向けて準備中である。埼玉県、千葉県、愛知県については、本県と同様な問題を抱えており、見直しに向けた検討の時期を迎えている。

他都府県での取り組みを比較・検討した中で、平成17年にスタートしたばかりの大阪府が特徴的な取り組みをしているので紹介する(図20)。

大阪府では市町村や各種スポーツ関係団体からの推薦に基づいて府が登録者名簿を作成し、ホームページ公開するという他県と同様のシステムをとっているが、指導依頼の受付窓口をそれぞれの推薦母体である市町村や各種スポーツ関係団体としている。依頼を受けた団体は、当該の登録指導者へ指導要請するとともに、依頼者との連絡調整を橋渡しし、指導者派遣の決定通知を府へ送付するところまでを請け負っている。

さらに、登録指導者による指導が終了した時点で、指導を受けた依頼者は、インターネット上から指導結果を府へ報告し、それを受けた府は、指導結果報告書を派遣先の団体へ送付し、一連の手続きを終了することとなる。

しかし、大阪府においても、登録者数や、登録されている競技種目がまだ少ないなどの様々な問題を抱えている。また、種目によっては事務局の対応体制が整っていないため、多くを府が補っている状況である。

表1 他都府県におけるスポーツリーダーバンクの状況

都府県名	設置機関	主な業務	H19登録数 (のべ人数)	課題及び状況
埼玉県	埼玉県立スポーツ研修センター	団体等からの推薦 県が名簿作成 市町村等へ配付	4201人 (4201人)	登録更新制度なし、今年度登録者を整理 来年度名簿は登録者数減となる 現在見直しに向けて検討中
千葉県	千葉県教育委員会教育振興部体育課	市町村等からの推薦 県が名簿作成 市町村等へ配付	557人 (1129人)	依頼による指導数は少ない(毎年調査) 今後、見直しに向けて検討する予定 56市町村のうち10市町村にてバンク実施
東京都	(財)東京都スポーツ文化事業団	個人からの登録依頼受理 名簿作成 区市町村・地域スポーツクラブへの名簿送付 指導者の紹介		登録者数が非常に少ない 広報の手段が限られている 区市町村でもリーダーバンクを持っているため、利用数が非常に少ない 現在、見直しを検討中
神奈川県	神奈川県立体育センター	団体等からの推薦等 県が名簿作成 ホームページで個人情報を一部公開 全ての依頼は直接登録者へ	866人 (1095人)	バンクによる依頼数・指導数を把握できない 現在見直しに向けて検討中
愛知県	愛知県広域スポーツセンター	団体等からの推薦 会議で名簿作成(2年に1度) ホームページで個人情報を公開 依頼は直接登録者へ	1548人 (1548人)	スポーツ指導者活用推進会議開催中止 今後、見直しに向けて検討する予定
大阪府	大阪府生活文化部文化・スポーツ振興室生涯スポーツ振興課	団体からの推薦 府が名簿作成 団体から依頼(一部、府で対応) 指導結果のとりまとめ	580人 (580人)	競技が網羅されていない 登録者が少ない 指導依頼が少ない 団体等の体制が整っていない

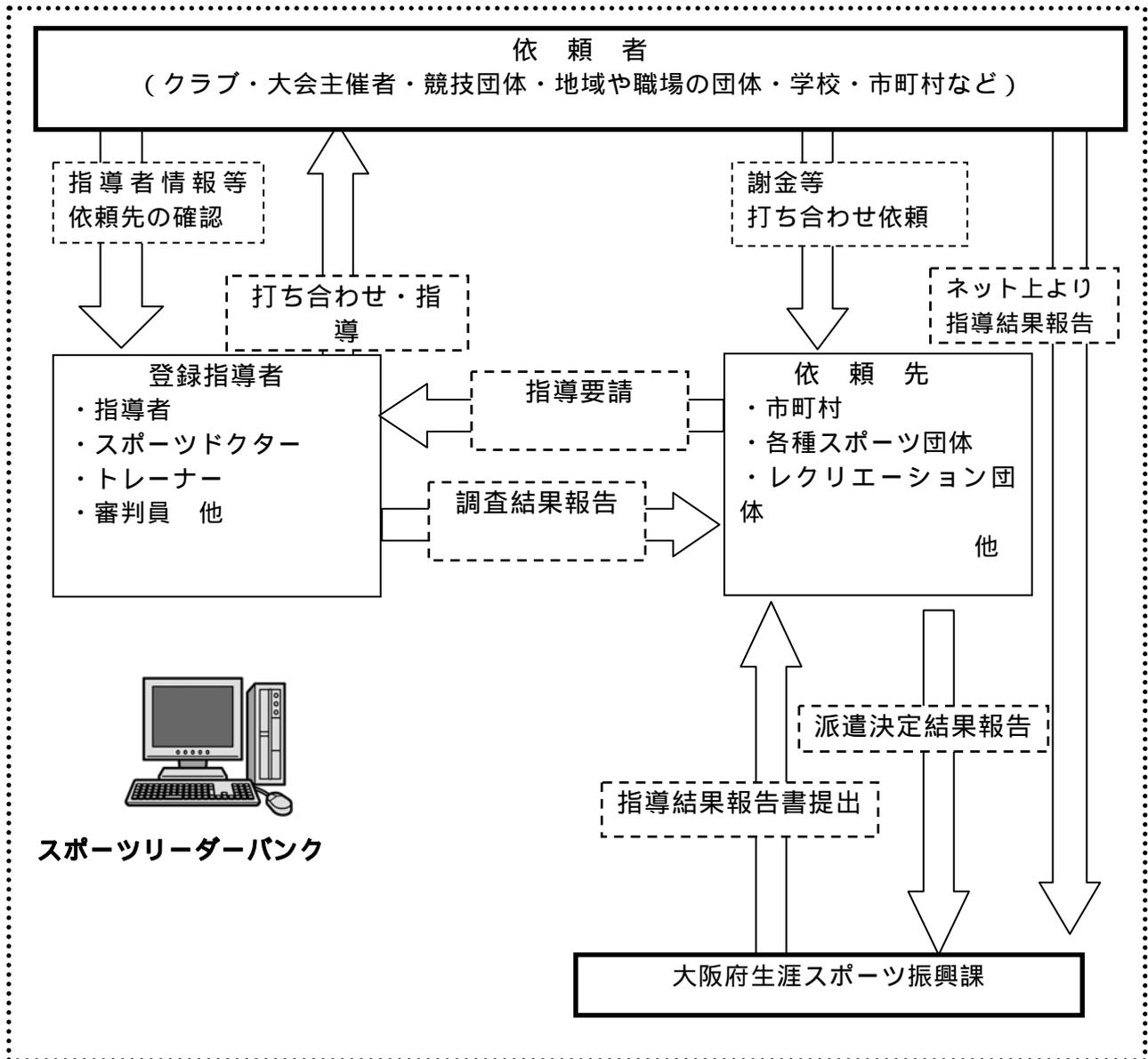


図20 大阪府スポーツリーダーバンク<sup>2)</sup>

3 県内におけるスポーツ指導者登録・紹介制度の実態について

神奈川県内で実施されているスポーツ指導者登録・紹介制度のうち、県スポーツリーダーバンクと同様に全県域を対象とする制度の実態について「プラネットかながわ指導者・人材情報」「ハマスポどっとコム・人材情報」への聞き取り調査を行い、県との比較をした(表2)。

財団法人横浜市体育協会が運営している「ハマスポどっとコム・人材情報」では、氏名・連絡先等を全て非公開としている点、資格の証明等を求めず本人の申請のみとしている点、更新制度が無いといった点で、県スポーツリーダーバンクとは大きく異なる。

なお、県スポーツリーダーバンクの登録指導者のうち、横浜市内で指導可能な指導者の情報を、本人の了解を得た上で提供するという連携を行っている。

県生涯学習文化財課が所管する県生涯学習情報センターで運営している「PLANETかながわ」では、広く全般的な分野の人材情報を提供しており、その中の一つとしてスポーツ指導者も登録されている。そこでは資格の有無を問わない点、更新制度が無いといった点で県スポーツリーダーバンクとは大きく異なる。

また、県立体育センターでは独自のサーバーを所有していないため、「県スポーツリーダーバンク登録指導者情報」をはじめ、県立体育センタースポーツ情報室が収集している「公立スポーツ施設情報」「スポーツ団体・サークル情報」「スポーツイベント情報」についても「PLANETかながわ」ホームページ上で公開するという連携を行っている。

表2 県内のスポーツ指導者登録・紹介制度

	PLANETかながわ指導者・人材情報	ハマスポどっとコム・人材情報	神奈川県スポーツリーダーバンク
実施機関	県生涯学習情報センター	(財)横浜市体育協会	県立体育センター
登録条件	資格不問	有資格者	有資格者
指導資格の確認	本人申請のみ	本人申請のみ	指導資格の証明書(コピー)添付
更新制度	無	無	3年ごとに登録更新
公開・情報提供方法	H P、電話、F A X、窓口等	H P、電話、F A X、窓口等	H P、電話、F A X、窓口等
氏名・連絡先 (住所、電話番号等)	必須項目 公開・非公開(意思確認)	必須項目・非公開	必須項目 公開・非公開(意思確認)
性別	必須項目 ・ 非公開	必須項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開
年齢	必須項目 ・ 非公開	自由項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開
指導種目	必須項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開
所属団体	該当項目なし	自由項目 ・ 公開	該当項目なし
推薦団体	該当項目なし	該当項目なし	推薦があれば公開
指導に関連した資格	自由項目 ・ 公開	自由項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開
指導可能区域	必須項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開
指導可能日	必須項目 ・ 公開	自由項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開
指導可能時間	必須項目 ・ 公開	該当項目なし	必須項目 ・ 公開
研修会等受講歴	自由項目 ・ 公開	自由項目 ・ 公開	該当項目なし(*)
指導歴	自由項目 ・ 公開	自由項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開(意思確認)
報酬について	必須項目 ・ 公開	自由項目 ・ 公開	該当項目なし
自己PR	該当項目なし	自由項目 ・ 公開	必須項目 ・ 公開

\* 自己PR欄に記載されていれば公開

県スポーツリーダーバンクでは、提供するスポーツ指導者の個人情報について、新規登録及び3年ごとの登録更新の際に、その都度氏名・連絡先等の「公開・非公開」について本人の意思を確認している。個人情報については、悪用も懸念されることから、その公開については賛否が分かれるところであるが、現在は「本人への意思確認の上、対応する」という立場をとっている（図21）。

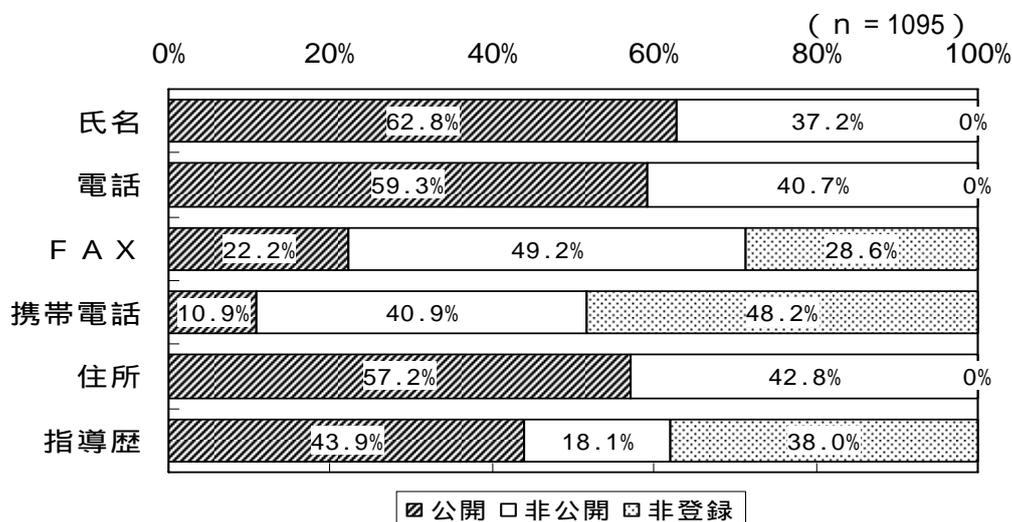


図21 提供する情報内容の公開状況

さらに大きな特徴として、指導種別を8項目設定し、新規登録及び3年ごとの登録更新時に自己申告させている（図22）。それを指導対象者（図23）などの情報とあわせることで、より指導者選択をしやすくするための工夫を加えている。

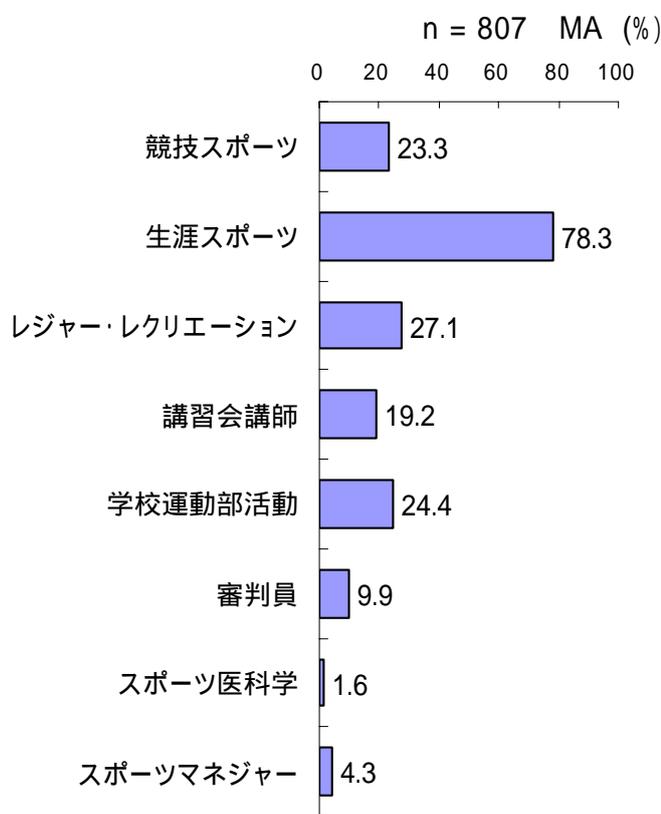


図22 指導種別

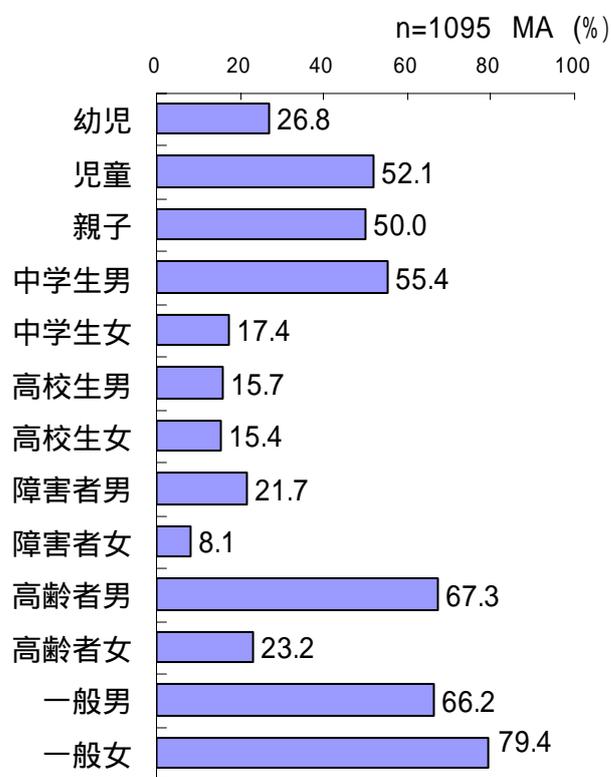


図23 指導対象者

4 特定非営利活動法人スポーツ指導者支援協会におけるスポーツ指導者登録・紹介制度への取り組みについて

スポーツ指導者の質の向上と活用促進のための公開情報の内容等に独自の工夫をしている民間団体として同団体に聞き取り調査を実施した。

同団体は、「活動開始当初は指導方法のビデオ販売を行っていたが、現場の声に耳を傾けるうち、運動部活動及びスポーツクラブ関係者は得てしてお互いに手の内を見せるのを嫌うのか、または、今さら恥ずかしくて聞けないのか、指導者同士の情報交換が少ないことに気がついた。しかも種目団体主催による講習会の内容は、指導者が本当に欲しているものではないことが多いという現場の声に突き動かされて独自の講習会等を開催するにいたった。」とのことであった。

さらに、「一流の指導者を講師に招いて講習会を実施していくうちに、講習会によって育成したスポーツ指導者の情報を登録し、より質の高いスポーツ指導を提供するためのスポーツ指導者情報を提供していくことに思い当たった。第一線で活躍してきた選手や指導者による講習会を計画的に開催することで指導者の資質向上を図り、同時に講習会に参加したスポーツ指導者の技量を把握することで、依頼者のレベルに応じた指導者の派遣が可能となっている。」とも付け加えている。

また、同団体のホームページで講習会の開催をアピールするとともに、講習会受講歴・指導実績・指導者の顔写真なども公開している。さらに依頼者に提供する公開情報の独自の工夫として、事務局が依頼者に対し「満足度調査」（表3）を実施している。最初のランク付け（表4）は自己申告とし、その後の満足度調査の結果を加算・減算していくことで、登録する指導者のさらなるレベルアップへの取り組みを促すことを目的として、こうした指導者の評価などをポイント化し、ホームページで公開している。

表3 特定非営利活動法人スポーツ指導者支援協会による満足度調査<sup>3)</sup>

評価項目	<p>「満足度調査」では次の8項目を評価します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) コーチとして好感が持てましたか</li> <li>2) 講習のテーマは明確でしたか</li> <li>3) 講習の構成は適切でしたか</li> <li>4) 使われたドリル・練習は効果的でしたか</li> <li>5) ことばや身振りで選手のやる気を出そうとしていましたか</li> <li>6) 今回の講習で成果はあがりましたか</li> <li>7) 今回の講習は今後役立つと思いますか</li> <li>8) 全体として今回の講習に満足しましたか</li> </ol>
評価基準	<p>評価は項目毎に10段階。その下から3段階が減点対象になります。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>7 すべてにおいて非常に満足できる</li> <li>6 大部分において非常に満足できる</li> <li>5 すべてにおいて満足できる</li> <li>4 大部分において満足できる</li> <li>3 すべてにおいてやや満足できる</li> <li>2 大部分においてやや満足できる</li> <li>1 満足でも不満でもない</li> <li>-1 やや不満がある</li> <li>-2 不満がある</li> <li>-3 非常に不満である</li> </ol>

表4 特定非営利活動法人スポーツ指導者支援協会によるランク付け(グレード)<sup>3)</sup>

<p>PASS (パス)</p> <p>50～399ポイント</p>	<p>パスはもっとも基礎的なグレードです。指導初心者、大学生などはこのグレードからのスタートとなります。最低ポイントである50ポイントは、本会認定の講習会受講によって付与されます。</p> <p>*指導経験が短期間の方、大学生、競技未経験者などはこのグレードからのスタートが義務づけられます。これは登録申請段階での書類審査に拠ります。但し、指導料は自己申告で構いません。</p> <p>*講習の認定は現在、適宜行っておりますので事務局にお問い合わせください。</p>
<p>FAIR (フェア)</p> <p>400～699ポイント</p>	<p>フェアは指導者として本格的な活動を始められた方のグレードです。指導機会を見つけて、より指導者としての能力を高めていきたい方をイメージしています。各競技団体の最低限の指導者資格を有している方が条件となります。最低ポイントは400ポイントからのスタートです。</p> <p>*登録申請段階での書類審査に拠り、指導経験・資格の有無を確認します。但し、指導料は自己申告で構いません。</p>
<p>GOOD (グッド)</p> <p>700～999ポイント</p>	<p>グッドは指導者として実績を残されている方のグレードです。指導経験も豊富で、年間指導計画を立てて、それを実践していける能力を有している方をイメージしています。日本体育協会および各競技団体のコーチ資格以上を有している方が条件となります。最低ポイントは700ポイントからのスタートです。</p> <p>*登録申請段階での書類審査に拠り、指導経験・資格の有無を確認します。但し、指導料は自己申告で構いません。</p>
<p>EXCELLENT (エクセレント)</p> <p>1000～1499ポイント</p>	<p>エクセレントは指導者として高い評価を受けている方のグレードです。指導経験はもちろん、選手育成・戦績などで評価の高い方をイメージしています。日本体育協会および各競技団体のコーチ資格以上を有している方が条件となります。最低ポイントは1000ポイントからのスタートです。</p> <p>*登録申請段階での書類審査に拠り、指導経験・資格の有無を確認します。但し、指導料は自己申告で構いません。</p>

これらの上に、SUPER EXCELLENT(スーパーエクセレント)というグレードがあります。これは各年代の日本代表チームのコーチ以上、あるいは日本代表選手(いわゆるA代表)、またプロフェッショナル競技においてはその選手・コーチ以上であり、なおかつ本会正会員5名以上の推薦を受けて、本会理事会において認証された方が登録されるグレードです。

## 【現状と課題】

### 1 県民のスポーツ実施状況とスポーツ指導者情報へのニーズ

県スポーツリーダーバンクにおける現在のスポーツ指導者登録数は866名（のべ1095名）、登録する指導者情報を発信しているホームページへのアクセス数は、年間2629件（平成18年度）であった。また、登録更新者を対象に行った調査（平成16～18年）によると、77.8%の指導者が何らかの形で指導依頼を受けており、62.0%の指導者が実際に指導を行ったと報告している。このことから、県民はスポーツ指導者から指導を受けることを望んでいると考える。

ここで、神奈川県民のスポーツ実施状況を見てみると、神奈川県民の週1回以上のスポーツ実施率は39.7%であった（平成18年度<sup>4)</sup>）。神奈川県は神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」において、成人の週1回以上のスポーツ実施率を50%以上とすることを《2015年の数値目標》として施策を展開している<sup>5)</sup>。また、平成19年に内閣府が行った「国民生活に関する世論調査」によると国民の41.3%は趣味やスポーツに熱中しているときに生活の充実感を感じており、これからの生活の中で特に力を入れたい点として、「レジャー・余暇生活」を挙げた割合は35.1%と最も高かった<sup>6)</sup>。このことから、今後スポーツへの欲求は高まり、これに伴いスポーツ実施率も高まることが予測される。スポーツ実施率が向上すればスポーツ指導者へのニーズも高まり、スポーツ環境の整備を推し進める中で、スポーツ指導者情報の充実は必須と言える。

しかし、平成19年度に県教育局保健体育課が行った「中学校・高等学校生徒のスポーツ活動に関する調査報告書」によると、スポーツ指導者情報を提供する県スポーツリーダーバンクの現在の認知度は低く、十分に活用されていないのが現状である<sup>7)</sup>。そのため、県スポーツリーダーバンクの活用促進に向けた抜本的な制度改革が必要とされる。

### 2 スポーツ指導者登録・紹介制度の実態

他都道府県においても、課題を抱えながら今後の方向性を模索している状況は本県と同様である（表1）。中でも、共通した課題は「制度を利用した依頼が少ないこと」である。

本県では当初、登録人数を増加させることで県民のスポーツ指導者情報に対するニーズに応えることができると考えてきた。しかし、スポーツ団体・サークル向けの調査における、「当然、指導対象者にもよるが、高度な技能の習得よりも、指導する対象に応じて優しい配慮、接し方ができ、安全に対する心配りの出来る人材を望む」との意見に見られるように、依頼者はスポーツ指導者に対して単なる技術指導のみを求めているわけではないことは明らかである。必然的に、スポーツ指導者情報に求められる要素は、登録人数を増加させることによる情報量増大もさることながら、指導者の指導方法、人柄、評判など、いわゆる「顔の見える情報」ということになる。これまで、スポーツ指導者へのニーズはあるにもかかわらず、スポーツ指導者情報を提供するスポーツリーダーバンクが利用されてこなかったのは、広報不足も一因と考えられるが、依頼者が本当に必要とする情報を提供できていなかったからであると考えることができる。

現在行っているような、県内のスポーツ指導者情報を一元化して検索できるシステムは便利だが、実際に依頼者がスポーツ指導者を選択する際に必要としている情報、すなわちスポーツ指導者の指導法・人柄・評判といった情報を提供することは、個人情報保護の観点からも限界があり、また、登録指導者一人ひとりの「顔の見える情報」を把握することも不可能であると考えてきた。

しかし、求められる情報を把握し、提供するためのシステム改善の議論がなされないまま、「求める情報が無いから見ない」「見ないから知られない」「知られないから使われない」という悪循環を繰り返して、全国的にみても、スポーツリーダーバンクという制度が利用者である県民の意識から遠ざけられてしまったのではないかと考える。

また、制度の活用状況である、県スポーツリーダーバンクからの情報によるスポーツ指導者への依頼数及びその依頼に応じた指導数などの実態を把握することができない、といったシステム上の課題も存在しており、今後、収集する情報を精選し、県民へ提供する情報の内容、提供する情報の発信方法等、システム全体の見直しが必要と考える。

### 3 スポーツ指導者の資格について<sup>8)</sup>

国際社会においては、体育・スポーツの実践はすべての人にとっての基本的権利であり、適切なスポーツ指導能力を持つ有資格者から指導を受ける権利がある<sup>9)</sup>という考え方が定着している。

県スポーツリーダーバンクは、登録指導者の質を保つため、スポーツ指導者の指導資格を自己申告のみで済ませることなく、資格証明のコピー添付を義務付け、さらに、資格認定団体活動実態や資格の有効期限などについて確認した後に登録を承認している。さらに、3年ごとに登録更新することによって、指導者に関する情報も新しいものにしてきた。このことは、県が提供する情報の質と信頼性を維持するために努力してきたという点で評価できる。

また、(財)日本体育協会は、平成17年に公認スポーツ指導者制度の改定を行い、中央競技団体をはじめとする加盟団体によって、専門的な知識と技術指導における質の高いスポーツ指導者が養成されることとなり<sup>10)</sup>、県内には、現在、7,065人の公認スポーツ指導者が存在する(平成19年10月18日現在)<sup>11)</sup>。このうち、県スポーツリーダーバンクの登録者は417人である(平成19年12月末現在)ことから、個人情報保護の観点から様々な課題が予測されるが、(財)県体育協会及び県スポーツ指導者連絡協議会との協力体制を整えていきたい。

一方、近年、有資格指導者の指導には対価が発生する、といった考え方もあるようだが<sup>12)</sup>、県の運営する、公共サービスとしてのスポーツ指導者登録・紹介制度であることから、スポーツ指導を職業としている有資格指導者は、明らかに営利を目的とした活動であるので登録対象とすることには問題がある。しかし、スポーツ指導を職業とする有資格指導者であっても無給もしくはそれに近い形で指導依頼を受けるのであれば登録対象者とすることも可能である。有資格者の指導と対価については、今後様々な議論が展開されることが予想されるが、公共機関が個人の営業を支援することができないことから、今後も、県としてはこの姿勢を貫くべきであると考えられる。

### 4 学校運動部活動における地域(外部)指導者活用について

中学校・高等学校の学校運動部活動における地域(外部)指導者活用について、学校長、教員、地域(外部)指導者ともに多くの人が必要を感じており(図15)、中学生と高校生の多くが地域(外部)指導者による指導をよいものであると考えている。

学校長は、地域(外部)指導者に求める資質を「顧問と協力して指導」、「人格的に優れている」としている。しかし、現在、県スポーツリーダーバンクが提供している情報からは、人格的に優れているかどうかを知るすべは無い。こういった理由からか、学校長は自校の教職員の知り合いや卒業生の中から地域(外部)指導者を探していることが多く(図17)、人物に対する安心感を優先し、スポーツ指導資格を持たない指導者が採用されるケースも見られる。

また、地域(外部)指導者活用のための人材バンクが必要であると多数回答があるにもかかわらず(図18)、県スポーツリーダーバンクの認知度の低さも如実に現れている(図19)。これまで季刊教育かながわ等を利用して、県スポーツリーダーバンクの利用を広報してきたが、学校での認知度は低い。今後、認知度を高めるために、学校長及び教員に対する積極的な広報が必要である。

一方、県スポーツリーダーバンクには、学校運動部活動を指導種別とする指導者や中学生・高校生を指導対象とする指導者が多く登録しているが(図22、23)、県スポーツリーダーバンクの学校での認知度の低さと求める情報の不足が重なり、あまり活用されていないのが現状である。学校現場での地域(外部)指導者の需要とスポーツ指導者の運動部活動での指導欲求(供給)の双方が存在しているにもかかわらず、結びつかずにいることは大きな課題である。その解決のため、新たな取り組みが必要と考える。

### 5 スポーツ指導者の自己研鑽

スポーツにおける指導理論や医科学的根拠は日進月歩である。そういった技術や理論の進歩を敏感に感じ取り、自分の指導に反映させていくことはスポーツ指導者にとって重要な視点であると考えられる。すなわち、スポーツ指導者にも、自己の指導能力の維持向上を目指すための自己研鑽

が求められているのである<sup>13)</sup>。そのためには、指導現場での実践的な経験を重ねることもさることながら、研修会・講習会等にも積極的に参加することが必要となる。

今回の調査では、73%の指導者はこの3年間に様々な研修会・講習会等に参加している(図10)。このことから、多くの指導者は常に学び続ける姿勢をもち続けていることがわかる。そして、この学び続ける姿勢は、スポーツ指導者の指導に対する意欲などの人柄を表現する指標となると考えられる。

指導の依頼者は、スポーツ指導者に技術指導のみならず、人格的にも優れた高い質を求めている。研修会・講習会に積極的に参加し学び続ける姿勢を示すことは、依頼者が指導者を選択する際の重要な判断材料の一つとなると考えられる。現在の県スポーツリーダーバンクでは、自己PRのひとつとして、研修会・講習会の参加状況を記入しているが、自由記述であるため、そういった姿勢がうまく伝わらないことが懸念される。今後、登録申請書の記入形式を見直すことが必要と考える。

## 6 スポーツ指導者の指導評価について

スポーツ指導者が、より質の高い指導を実現していくためには「PDCAサイクル」は必須であり、そのための方策として「スポーツ指導者の指導評価」が考えられる。指導評価といっても、様々な評価方法があるが、自らの指導を評価する「自己評価」を中心としつつも、指導を行った依頼者からの評価「外部評価」も有効であると考えられる。今回の調査結果からも依頼者から指導についての評価を受けることについて、56.9%の指導者が必要であると回答している(図12)。さらに、毎回実施している指導者と、ときどき実施している指導者とを合わせると、57.8%の指導者はすでに自主的に「外部評価」を実施している(図13)。このことから、県スポーツリーダーバンクがスポーツ指導に対する指導評価のシステムを導入することは、多くの指導者に受け入れられるであろう。今後、スポーツ指導者のさらなる資質向上につながる指導評価方法の検討が必要と考える。

また、自分の指導に関する評価をポイント化するなど、わかりやすい表示方でホームページ等に公開することは、依頼者が指導者を選択するための有効な判断材料となることが考えられる。

今回の登録指導者を対象とした調査では20%の指導者が賛成しているが、どちらともいえないと回答した57%の指導者についても、具体的な案を示すことで賛成となる可能性がある(図14)。指導評価結果の公開についても、今後の重要な課題である。

## 【今後のあり方について】

### 1 指導評価の導入

県スポーツリーダーバンクの活用を促進するためには、バンクそのものの信頼性を高めなければならない。信頼性の基礎は、登録指導者の質の向上にある。

登録指導者の主体的な指導力向上をさらにうながすためには、指導を受けた人からの指導評価を実施し、その結果を本人にフィードバックすることが有効である。多くの指導者は指導に対する評価を受ける必要性を感じており（図12）、すでに半数をこえる指導者が実施している（図13）現状からすれば、県スポーツリーダーバンクにおいても、スポーツ指導者の指導を事後評価するシステムの導入の可能性は高いと考える。ただし、具体化に当たっては、評価方法および評価結果の表現方法に工夫が必要である。すでに特定非営利活動法人スポーツ指導者支援協会が実施している満足度調査（表3）を参考として検討を進めたい。

ここで重要なのは、あくまで主たる目的がスポーツ指導者の指導力の向上につなげるための取り組みであるという視点を忘れてはならないということである。すなわち、評価結果を真摯に受け止め、さらなる自己研鑽に努め、その後の指導に役立ててこそその指導評価であることの理解を十分に図る必要があるということである。

### 2 顔が見える情報への工夫

県民が求めているスポーツ指導者登録・紹介制度とするには、公開する情報の内容をできる限り「顔が見える情報」に近づけることと、より詳しい「顔が見える情報」を提供することができる「相談役」を設けることが有効と考える。

#### （1）「顔が見える情報」の内容

「顔が見える情報」と一言で言っても、さまざまな内容が考えられる。インターネットを利用した情報提供においては、県の情報提供システム上の問題点もあるが、文字や絵で表現できる情報には限界があり、また、個人情報保護の観点を考慮すると、表現方法にも制約があると考えられる。そこで最大限提供できる「顔が見える情報」は次のような内容が考えられる。

#### ア 指導歴

スポーツ指導者の指導歴は、指導経験の豊富さを物語り、指導を受ける側に安心感を与えることが期待される。なお、指導歴が無い、もしくは少ない指導者については、その理由などを明確に示すことで、偏見や誤解を避けることができると考えられる。

#### イ 受講歴

スポーツ指導者の研修会や講習会等の受講歴は、よりよい指導を迫る意欲の現われであり、指導者の質の高さを計り知るために有効な情報であると考えられる。ただし、受講した内容や掲載しておく期間など、情報表示方法と登録指導者が申告する際の記入項目や方法の簡便化など、回答しやすくするための工夫が必要であると考えられる。

#### ウ 指導評価

スポーツ指導者の指導に関する評価結果は、県民が指導者を選択する際の判断基準として有効な情報であると考えられる。指導を受けた方の満足度をポイント化した指導者ランク（グレード）や指導を受けた方からの感想の公開などが考えられる。ただし、公開するにあたっては、登録指導者から理解が得られる内容と方法についての検討が必要である。

#### （2）より詳しい「顔が見える情報」を提供することができる「相談役」の設置

前述の提供する情報の内容と情報の公開方法の工夫に加え、依頼を受ける窓口が単なる連絡調整の役割だけを果たすのではなく、より詳しい「顔が見える情報」を提供することができる「相談役」としての役割を持つことで依頼者の希望に対して、より丁寧な対応が可能になると考えられる。ただし、「相談役」としての役割を果たすには、その指導者により近い存在である団体や機関の能力が重要である。

現時点において「相談役」は、当該指導者を推薦したスポーツ関係団体等が考えられるが、これらの団体が「相談役」としての機能を持ち得るかどうか重要なポイントであると考えられる。

### 3 健康・体力づくり及びスポーツ振興施策推進のための具体事業への登録指導者の活用<sup>14)</sup>

県スポーツリーダーバンクは、質の高い有資格指導者が登録されているにも関わらず、利用が少ないことが問題とされていた。一方、県が自ら施策推進にともなう取り組みをすべて実践することには限界がある。そのため、市町村・地域等に密着し、より身近なところで実際に指導する指導者が必要になってくる。しかし、その都度新たにスポーツ指導者を養成するのは難しい。このことから、県スポーツリーダーバンクに登録している、既存の人材に施策推進に役立つ知識を付加することで、キャリアアップを狙い活用を促進するという取り組みが考えられる。

たとえば、3033運動普及員養成講習会の開催などはその一例である。県スポーツリーダーバンクに登録する指導者を対象に講習会開催を広報し、講習会を受講したことで施策推進に必要な知識が付加され、全県的な施策を展開するための、実際の推進者として活用することが可能となった。

今後このような手法は多く取り入れられていく可能性が高いと考えられる。より一層の効果をねらうためには、施策推進を目的にした市町村や学校等でのイベント・講習会開催の必要性、そのための指導者登録・紹介制度の存在をアピールしていくことも必要であろう。

### 4 学校運動部活動地域(外部)指導者活用に向けて<sup>5)</sup>

中学校・高等学校は運動部活動の指導に地域(外部)指導者を必要としている。そして県スポーツリーダーバンクには、設定した8項目の指導種別から学校教育活動である運動部活動指導を選ぶ指導者(図22)や、中学校・高等学校生徒を指導対象とする指導者が多く登録している(図23)。しかし、学校における地域(外部)指導者活用に際して県スポーツリーダーバンクが活用されることは少ない。

そこで、今後の学校運動部活動での地域(外部)指導者の活用を促進するために、次のようなことが考えられる。

#### (1) 学校運動部活動専用の情報収集及び提供

##### ア 学校が求める情報内容の調査

学校が地域(外部)指導者を選択する際に利用しやすい情報内容、及び提供する情報の表現方法について調査する。調査結果を反映させた登録情報の項目を工夫する。(例：学校での指導実績など)

##### イ 登録指導者からの情報収集・名簿作成

運動部活動指導が可能な登録者を対象に、上記調査結果を反映させた項目について情報収集する。そしてこれまで発信してきた情報内容に加えて、運動部活動専用情報を作成する。

##### ウ 学校等への指導者情報の提供

運動部活動専用のリーダーバンク登録情報を学校へ配付する。県立学校については、教育委員会ネットワーク教員用ポータルサイトの活用も検討する。

#### (2) 学校運動部活動が学校教育活動の一環として行われることを理解した指導者の確保

##### ア 教職経験者

運動部活動の意義はもちろん、その効果や課題等について十分に理解している教職経験者は、地域(外部)指導者として「顧問と協力して指導」することができ、「人格的に優れている」人材であると考えられる。

#### (3) 広報

##### ア 利用促進

学校長及び教職員向けに積極的に広報する。さらに、運動部活動顧問教員の連絡・情報交換の機能を有する学校体育団体に向けて広報する。

##### イ 人材確保

当面は、教職経験者向けに広報する。

## 【まとめ】

本研究では、県内市町村スポーツ主管課、各種スポーツ関係団体、スポーツクラブ・サークル、県スポーツリーダーバンク登録指導者、他都府県、全県域を対象とした人材情報の提供を行っている機関、民間の人材情報提供実施団体に対して調査を行い、その結果と「中学校・高等学校生徒のスポーツ活動に関する調査」の結果を参考に分析と考察を進め、スポーツ指導者登録・紹介制度としての神奈川県スポーツリーダーバンクの今後の改善の方向性を見出すことができた。

今後のスポーツ指導者登録・紹介制度としては、大阪府のスタイルを参考とした運用システムの再構築という方向性が考えられる。

公開する情報をできるだけ指導者の「顔の見える情報」に近づけるため、「指導歴」「受講歴」「指導評価」といった内容の情報提供が考えられる。さらに、指導者により近い存在である各種スポーツ団体等に、利用者の相談役としての役割を持たせることで、より「顔の見える情報」の提供ができると考えられる。

指導依頼を受け付ける窓口を設けることによって、事業評価に必要な指導依頼件数や依頼に基づく指導実施件数を把握することが可能になる。

また、登録指導者の活用促進の観点から、3033運動普及員養成に見るような行政機関事業の普及啓発への活用の方向性も考えられる。

一方、学校運動部活動に関しては、学校教育活動の一環としての運動部活動ということを十分理解している指導者を求めていることから、それに該当する人材の発掘を行うとともに、学校が求める情報の内容を調査することの必要性と登録指導者から新たな情報収集を実施する必要性が見えてきた。このため、学校運動部活動への活用に関しては、学校運動部活動専用の情報提供システムを設けることも必要と考えられる。

以上のことを踏まえ、今後の神奈川県スポーツリーダーバンクに関する検討を進めていきたいと考える。

# 資料

スポーツ指導者の登録・紹介等に関する調査結果

< 市町村スポーツ主管課 >

質問 1	貴市町村では、スポーツ指導者登録・紹介制度（リーダーバンク等）を実施していますか。	(n=31)
	している	6
	していない	25

質問 2 から 4 については、質問 1 で「 している 」を選んだ方が答える質問です。それ以外の方は、質問 5 へ進んでください。

質問 2	その制度では、登録指導者の所有するスポーツ指導に関する資格を把握していますか。 ここでいう資格とは、別表及びそれに準ずるものとします。	(n= 6)
	している	3
	していない	3

質問 3	その制度を活用した登録指導者への指導依頼件数や指導件数を把握していますか。 、 又は を選んだ方は、把握方法について具体的に記入してください。	(n= 6)
	指導依頼件数と指導件数を把握している	2
	指導依頼件数は把握しているが、指導件数は把握していない	0
	指導依頼件数は把握していないが、指導件数は把握している	1
	指導依頼件数と指導件数を把握していない	3

< 具体例 >

- ・登録時に記入欄に申請している
- ・指導依頼時の受付により把握

質問 4	その制度では、次のような登録指導者のスポーツ指導に関する評価を実施していますか。該当するものすべてを選んでください。 を選んだ方は、その方法を具体的に記入してください。	(n= 5)
	していない	5
	登録指導者自身による自己評価	0
	指導を受けた方による評価	0
	当該制度主管課等の行政機関による登録指導者の評価	0
	< 具体例 >	
	・なし	

質問 1 で「 していない 」を選んだ方が答える質問です。

質問 5	市町村民から指導者を紹介して欲しいと依頼があった場合、どのように対応していますか。該当するものすべてを選んでください。 を選んだ方は、その内容を具体的に記入してください。	(n=25)MA
	対応していない	1
	体育協会等の団体を紹介している	22
	神奈川県スポーツリーダーバンクで検索して、紹介している	2
	県立体育センタースポーツ相談窓口を紹介している	3
	その他の方法で対応している	2
	< 具体例 >	
	・特に実績はないが、依頼内容により ~ の方法により個別対応とする	
	・最近 5 年間の内、1 回だけあったが、種目により職員で対応が可能であった	
	・事例がない	

質問 6	今後、スポーツ指導者登録・紹介制度を実施する予定はありますか。	(n=31)
	実施する予定である（検討中を含める）	3
	実施する予定はない	14
	検討していない	8

**全員にお聞きします。**

質問 7	貴市町村域内に、スポーツ指導者を登録・紹介している団体等がありますか。 を選んだ方は、その団体又は制度等の名称を具体的に記入してください。	(n=29)
	ある	5
	ない	18
	把握していないので、わからない	6
	<具体例>	
	・川崎市体育協会（生涯スポーツ指導者派遣事業）	
	・（財）横須賀市生涯学習財団「YOKOSUKAまなび情報」	
	・財団法人厚木市体育協会	
	・海老名市生涯学習ボランティアバンク制度	
質問 8	貴市町村が主催するスポーツ教室やスポーツに関する講習会・研修会等の講師を神奈川県スポーツリーダーバンクで検索したことがありますか。	(n=30)
	はい	7
	いいえ	23
質問 9	神奈川県スポーツリーダーバンクに対する提案・要望等をお書きください。	

・県は登録者の人物把握をしているか。指導歴や資格だけでは不安。謝礼基準は設定しているか。インターネット上の公開で不都合はないか。

・当町では、スポーツイベント「やまきた健康スポーツ大会」を実施し、そのイベントでは毎回ゲストとして有名なスポーツ選手をよび教室を実施しているがゲストの方を探すのに大変苦慮しています。今後は、県のスポーツリーダーバンクを利用しお願いしたいと思いますのでご協力をお願いします。

< 各種スポーツ関係団体 >

質問 1 貴団体では、スポーツ指導者登録・紹介制度（リーダーバンク等）を実施  
していますか。 (n=45)  
している 20  
していない 25

質問 2 から 4 については、質問 1 で「 している 」を選んだ方が答える質問です。それ以外の方は、質問 5 へ進んでください。

質問 2 その制度では、登録指導者の所有するスポーツ指導に関する資格を把握して  
いますか。 (n=20)  
ここでいう資格とは、別表及びそれに準ずるものとします。  
している 16  
していない 4

質問 3 その制度を活用した登録指導者への指導依頼件数や指導件数を把握していま  
すか。 又は を選んだ方は、把握方法について具体的に記入してください。  
(n=24)  
指導依頼件数と指導件数を把握している 5  
指導依頼件数は把握しているが、指導件数は把握していない 9  
指導依頼件数は把握していないが、指導件数は把握している 0  
指導依頼件数と指導件数を把握していない 10

< 具体例 >

- ・当協会の受託指導として扱っています。
- ・依頼され可能なものに指導している
- ・指導依頼の窓口が体協になっていて謝礼支払いのためにも回数日数は把握している
- ・派遣事業申請書、報告書により把握
- ・電話や窓口で問い合わせのあった件のみ把握している
- ・本人からの報告
- ・指導依頼時の受付により把握
- ・電話、書面にて依頼ある時、その人数をそろえてリンク(指導場所)へ伺っています。
- ・「指導者に詳細を聞きたいので、連絡先を教えて欲しい」という問い合わせの件数は把握しているが、実際に依頼したか、交渉が成立したかまでは把握していない
- ・直接個人に依頼されたものは把握していない
- ・依頼がない

質問 4 その制度では、次のような登録指導者のスポーツ指導に関する評価を実施し  
ていますか。該当するものすべてを選んでください。  
を選んだ方は、その方法を具体的に記入してください。 (n=18)  
していない 14  
登録指導者自身による自己評価 1  
指導を受けた方による評価 1  
その他の方法で評価 2

< 具体例 >

- ・申請者（受け手）も指導者も必ず報告書を提出しその中で評価・感想も記入している
- ・更新時に指導実績カードの提出を義務付けている
- ・理事会で報告

質問 1 で「 していない 」を選んだ方が答える質問です。

質問 5 県民から指導者を紹介して欲しいと依頼があった場合、どのように対応して  
いますか。該当するものすべてを選んでください。  
を選んだ方は、その内容を具体的に記入してください。 (n=25)MA  
対応していない 4  
体育協会等の団体を紹介している 16  
神奈川県スポーツリーダーバンクで検索して、紹介している 0  
県立体育センタースポーツ相談窓口を紹介している 0  
その他の方法で対応している 10

< 具体例 >

- ・（社）日本馬術連盟及び全国乗馬クラブ振興協会が指導者資格制度をもっており、その中で対応されている。
- ・中央団体がホームページ上での指導者マッチングシステムを作っているの、それを紹介している
- ・県ソフトボール協会へは、県民から指導者の紹介・依頼はないが、市・町協会では学校等から指導者に依頼があり、中学校等で指導しているとの報告はある。
- ・当連盟が把握している資格保持者の中から依頼に適した地域の方を選定紹介
- ・本連盟事務局が地域、希望流派等を考えて紹介している
- ・県民が居住する市区町村に近い指導者を派遣対応している
- ・会議を行い依頼先に近い指導者を紹介
- ・加盟団体で対応できる依頼については、その団体をお願いしている
- ・当協会管理サイト「ハマスポどっとコム」で、市民（県民）からの問い合わせで紹介することを前提に指導者の登録を受け付けておりそれを紹介している
- ・大学の講師（教授）を紹介している
- ・会員個人へ連絡する

全員にお聞きします。

質問 6 貴団体と神奈川県スポーツリーダーバンク以外に、スポーツ指導者を登録・紹介している団体等を知っていますか。  
 を選んだ方は、その団体又は制度等の名称を具体的に記入してください。

(n=46)

知っている

10

知らない

36

< 具体例 >

- ・（社）日本馬術連盟、全国乗馬クラブ振興協会
- ・神奈川県レクリエーション協会
- ・（財）横浜市体育協会のホームページ中の「街の先生（人材）を探す」
- ・相模原市教育委員会 生涯学習情報システム「生涯学習のとびら」
- ・横須賀市指導者登録、葉山町生涯学習ボランティア
- ・海老名市生涯学習ボランティアバンク制度
- ・マイタウンクラブ地域指導者情報（厚木市ホームページ内）

質問 7 貴団体では、所属するスポーツ指導者を対象としたスポーツ指導に関する講習会等を行っていますか。

(n=46)

行っている

27

行っていない

19

質問 8 貴団体が主催するスポーツ教室やスポーツに関する講習会・研修会等の講師を神奈川県スポーツリーダーバンクで検索したことがありますか。

(n=45)

ある

3

ない

42

質問 9 神奈川県スポーツリーダーバンクに対する提案・要望等をお書きください。

- ・当協会でも人材バンク派遣制度の導入については今後検討していく。制度化が整備し次第県スポーツリーダーバンクとも連携を図って生きたい
- ・県全体に広がり指導ができるとうい（今のところ指導する地域に限られている）
- ・われわれの団体は種目団体でスポーツ教室など主宰する場合は指導者がおりその人たちにお願いしている。これからはスポーツクラブなど多くの人たちが集まるところに行政は力をいれ場所の確保に力を注いでほしい。県市民のため、健康につながる提供をして欲しい。アメリカのように国民の健康につながることにお金を使って欲しい。
- ・指導者の養成等を数多く行って欲しい
- ・現在大変感謝していますので特にありません。ありがとうございました。

<スポーツクラブ・サークル>

全員にお聞きします。

質問 1	あなたは、神奈川県スポーツリーダーバンクを知っていますか。	(n=11)
	知っている	8
	聞いたことはある	1
	知らない	2
質問 2	あなたは、神奈川県スポーツリーダーバンク以外のスポーツ指導者を登録・紹介する制度または、団体を知っていますか。 を選んだ方は、制度または団体の名称を具体的に記入してください。	(n=5)
	知っている	2
	聞いたことはある	2
	知らない	1
	<具体例>	
	・厚木市体育協会	
	・ハマスポドットコム、健康運動指導士会	
質問 3	あなたの所属するスポーツクラブまたはサークルは、スポーツ指導者に教えてもらっていますか。	(n=10)
	外部のスポーツ指導者に教えてもらっている	2
	クラブメンバー（主催者を含む）のスポーツ指導者に教えてもらっている	6
	スポーツ指導者からは教えてもらっていない	2

質問 3 で「 」を選んだ方にお聞きします。

質問 4	外部のスポーツ指導者をどのような方法で知りましたか。 を選んだ方は、その方法を具体的に記入してください。	(n= 1)
	クラブメンバーの知人または知人からの紹介により知った	1
	県や市町村のスポーツ指導者の紹介制度等を利用して知った	0
	その他の方法	0
	<具体例>	
	・小学生に関しては藤沢市市民活動推進センターからの紹介でボランティアスタッフに教えてもらっている。一般に関しては、当クラブのホームページ等からのインターネットの募集でやってもらっている。	

質問 3 で「 」を選んだ方にお聞きします。

質問 5	あなたの所属するスポーツクラブまたはサークルがスポーツ指導者に教えてもらっていない理由は何ですか。 を選んだ方は、その理由を記入してください。	(n=2)
	今は、スポーツ指導者に教えてもらう必要がないから	1
	条件にあうスポーツ指導者が見つからないから	0
	スポーツ指導者を探す方法がわからないから	0
	その他	1
	<理由>	
	・ボランティア活動が中心で、初心者、障害者、高齢者などを対象にしているの、あまり専門知識の高い人材は必要としない。また、週3回、無料で奉仕してくれるヨット関係者の人材は登録していないだろうと勝手に想像し、マスコミ、チランなどで素人を募集しインストラクターとして育てている。教育には各方面の知識の豊富な人材に依頼し講義や指導をしてもらっている。	

質問 6 あなたがスポーツ指導者を選ぶとしたら何を重視しますか。  
 該当するものをすべて選んでください。  
 を選んだ方は、その内容を具体的に記入してください。

(n=11)MA

指導資格	5
指導実績	8
教え方	11
年齢	1
性別	1
人柄	8
費用（謝金・料金）	6
その他	2

・ヨットの操縦レベルの高さより、社会貢献のためのボランティア活動であることを理解し、子ども、高齢者、女性、心または体にハンディキャップのある人への優しい配慮、接し方ができ、安全に対する心配りのできる人材。スポーツのレベル向上よりも自然のなかでのセーリングの魅力をしっかり伝えられ、海に対する恐怖心を除き、海が大好きになれるよう指導できる人材。

・年代によって指導する事柄が変わってくる。それによって指導する内容が変わってくるので、適材適所のような形で指導者を募っている。その状況によっては、指導実績も視野に入れている。

質問 7 神奈川県スポーツリーダーバンクに対する提案・要望等をお書きください。

・もっと分かりやすく、かつ大々的にやっていただきたい。その他、登録したい人がいたら、どのようにするのかなどをスポーツクラブの代表的な人に定期的にメール等をいただけたらとても助かる。

・川崎市山岳協会では市民対象事業として市民登山、ハイキングを実施しています。そのリーダーとして協会傘下の山岳会、山岳クラブのリーダーに依頼しており、リーダーバンクを活用することは現在のところありません。むしろ、小・中学生のクラブ活動や子供会など野外活動で山岳のリーダーを求めているのではと考え、自分自身登録しています。現在まで問い合わせ等はなく山岳スポーツの底辺拡大に別な方法も考えたほうがよいのではと思っています。

・私自身、何年も、何らかのお役に立てればと登録していますが、いまだ一度も誰からもスポーツ指導者登録に対する反応はありません。他のスポーツの実態は知りませんが、形だけ作って勝手に良しとしている程度のものでと想像し、期待もしていません。登録者がこんなに役立っていますよというフィードバックもないし、登録している人を何とか活用し生かそうという意志が感じられないということです。

・年齢的に多忙となり要望にこたえられない

<スポーツリーダーバンク登録指導者>

質問 1	あなたは、この3年間にスポーツ指導を行いましたか。 を選んだ方は、指導件数を記入してください。	(n=195)
	行った	171
	行っていない	24
	<指導件数平均値>	142.12
質問 2	あなたは、この期間に神奈川県スポーツリーダーバンク（以下「県のリーダーバンク」という。）を通じてスポーツ指導を依頼されたことはありますか。 を選んだ方は、依頼件数を記入してください。	(n=190)
	ある	33
	ない	157
	<指導件数平均値>	2.28
質問 3	あなたは、この期間に県のリーダーバンクを通じた方法以外でスポーツ指導を依頼されたことがありますか。 を選んだ方は、依頼件数を記入してください。	(n=193)
	ある	137
	ない	56
	<依頼件数平均値>	35.25
質問 4	あなたは、この期間にスポーツ指導に関する研修会・講習会等に参加しましたか。 を選んだ方は、参加件数を記入してください。	(n=190)
	参加した	138
	参加しなかった	52
	<参加件数平均値>	6.71
<b>質問 5からは、期間の限定はありません。</b>		
質問 5	あなたは、指導対象者、指導回数（日数）などの指導実績を県立体育センターに報告して県のリーダーバンク利用者へ公開することをどう思いますか。	(n=194)
	報告した内容を、指導実績として公開することに賛成	83
	報告することには賛成だが、公開することは反対	30
	報告することに反対	7
	どちらとも言えない	74
質問 6	あなたは、あなたの指導を受けた方からのあなたの指導に関する評価を受ける必要があると思いますか。	(n=195)
	そう思う	111
	そう思わない	28
	どちらとも言えない	56
質問 7	あなたは、あなたの指導を受けた方に、あなたの指導について評価してもらっていますか。	(n=185)
	毎回評価してもらっている	16
	毎回ではないが評価してもらっている	91
	評価してもらっていない	78
質問 8	あなたは、あなたの指導を受けた方からのあなたの指導に関する評価をポイント化するなど、利用者にとってわかりやすい表示方でホームページ等で公開することについて、どう思いますか。	(n=194)
	賛成	39
	反対	45
	どちらとも言えない	110

質問9 あなたは、県のリーダーバンク以外に、スポーツ指導者を登録・紹介している団体等を知っていますか。  
 を選んだ方は、団体または制度等の名称を具体的に記入してください。 (n=193)

知っている	74
知らない	119
< 知っている団体または制度等の名称 >	
・日本体育協会公認スポーツ指導者制度	7
・スポーツドクター日本バレーボール協会ホームページ等	
・全日本空手道連盟	
・日本サッカー協会	
・日本オリエンテーリング協会	2
・日本ジュニアヨットクラブ連盟	
・日本エアロビック連盟	
・日本エアロビック協会	
・日本セーリング連盟	
・日本レクリエーション協会	
・全日本剣道連盟	
・日本グランドゴルフ協会	
・野外活動指導者ディレクター	
・ダイヤ高齢社会研究財団	
・ADL対応型高齢者体操研究会	
・(財)健康体力づくり事業財団による「人材情報提供データベース」	
・(社)全国体育指導者委員連合会	
・明治大学	
・ハマスポ	15
・プラネット	2
・県体育協会	2
・KSVB	3
・神奈川県スポーツ少年団	2
・県生涯スポーツリーダー会	2
・県レクリエーション協会	2
・県グラウンドゴルフ協会	
・県水泳連盟	3
・県スポーツ指導者連絡協議会	2
・県スケート連盟普及部	
・県体力づくり体操連盟	2
・県スキューバダイビング協会	
・卓球協会	
・バドミントン協会	
・県剣道連盟	
・かながわ健康財団	
・(財)相模原市体育協会	
・厚木市教育委員会	
・茅ヶ崎市教育委員会	
・藤沢市生涯学習	
・鎌倉市生涯学習指導者	7
・海老名市	
・綾瀬市生涯学習人材バンク	2
・「なかい街の先生」生涯学習ボランティア	

- ・川崎市体育協会（生涯スポーツ指導者派遣運営委員会）
- ・NPO横浜健指連
- ・横浜市アマチュアボクシング協会
- ・厚木市アマチュアボクシング協会
- ・横浜市レクリエーション協会
- ・横浜市水泳連盟
- ・藤沢市太極拳連盟
- ・相模原市グラウンドゴルフ協会
- ・大和市グラウンドゴルフ協会
- ・鎌倉市生涯スポーツリーダー会
- ・小田原市市民体操指導員
- ・鎌倉水泳協会
- ・緑区スポーツセンター
- ・東京都生涯学習情報
- ・東京中国武術協会
- ・東京太極拳協会

4

質問10	あなたは、県のリーダーバンク以外のスポーツ指導者を登録・紹介している団体または制度等に登録していますか。	(n=194)
	登録している	80
	登録していない	114
質問11	神奈川県スポーツリーダーバンクに対する提案・要望等を、お書きください。 省略	

< 引用・参考文献 >

- 1) SSF笹川スポーツ財団  
「スポーツ白書」スポーツの新たな価値の発見 平成18年3月
- 2) 大阪府スポーツリーダーバンクホームページ  
<http://mic.e-osaka.ne.jp/ns-net/ns-net/bank/>
- 3) 特定非営利活動法人 スポーツ指導者支援協会ホームページ  
<http://www.sportif-support.net/>
- 4) 神奈川県・神奈川県立体育センター  
「県民の体力・スポーツに関する調査結果報告書」平成19年2月
- 5) 神奈川県・神奈川県教育委員会  
神奈川県スポーツ振興指針「アクティブかながわ・スポーツビジョン」平成16年12月
- 6) 内閣府 「国民生活に関する世論調査」平成19年7月調査
- 7) 神奈川県・神奈川県教育委員会  
「中学校・高等学校生徒のスポーツ活動に関する調査報告書」平成20年3月
- 8) 松尾 哲也「特集/スポーツ・ボランティア スポーツ・ボランティアとその専門性～【ボランティア-専門性】指導者システムの再構築～」体育の科学 杏林書院 2002 Vol.52 No.4
- 9) 第20回ユネスコ総会  
「体育およびスポーツに関する国際憲章」第一条、第四条、
- 10) 岡 達生 「財団法人日本体育協会のスポーツ指導者制度改定について」  
月刊トレーニングジャーナル (有)ブックハウス・エイチディ 2005 No.311
- 11) (財)日本体育協会  
「公認スポーツ指導者登録状況」スポーツ指導者のためのスポーツジャーナル(財)日本体育協会  
2007 vol.274 冬号
- 12) 山口 泰雄  
「指導の質向上と『指導に対するコスト意識』の浸透を」スポーツ指導者のためのスポーツジャーナル(財)日本体育協会 2007 vol.273 秋号
- 13) (財)日本体育協会  
「21世紀のスポーツ指導者 望ましいスポーツ指導者とは」
- 14) 海老原 修  
「連載 体育・スポーツ指導者のキャリア・アップ講座1 キャリア・アップ教育のすすめ」体育の科学 杏林書院 2006 Vol.56 No.6